

《日商簿記2級》 —工業簿記—

28. 原価予測の方法

～原価の固定分解（原価分解）について～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



原価予測の方法

～原価の固定分解（原価分解）について～ <原価分解の方法を把握しよう>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiirroha.com>



原価予測の方法

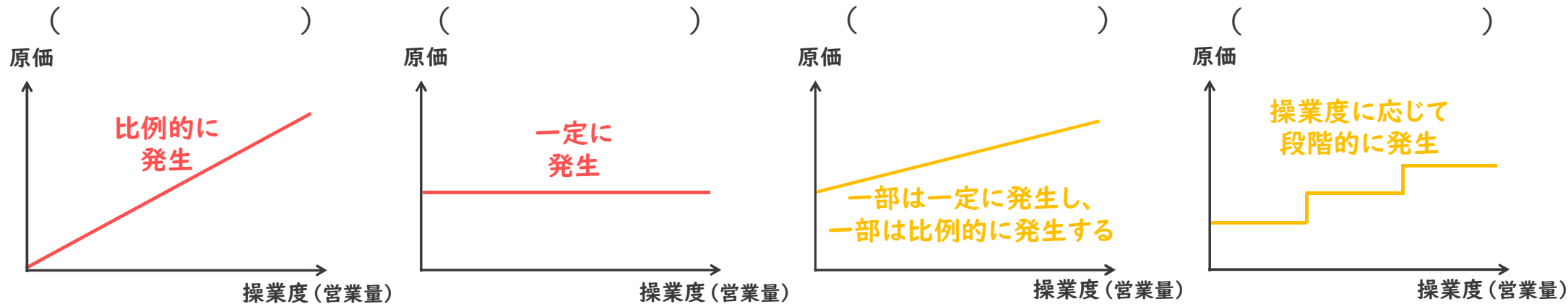
- ・原価予測とは、操業度の増減に応じて、原価の発生がどう変化するかを予測することをいう。
- ・予測をするためには、原価を固定費と変動費に分解する必要があるが、これにはいくつかの方法がある。その中で、日商簿記2級では()と()の2つについて学習する。

<原価の分類(操業度との関連における分類)について>

- ・原価態様によって原価を分けると、下記の4つに分類される。

○参考(原価の分類)○

- ・形態別分類…材料費、労務費、経費
- ・製品との関連による分類…製造直接費、製造間接費



○用語○

- ・操業度…利用度合い(生産量・販売量、時間など)
- ・態様…様子、物ごとのありさま
- ・ビヘイビア (behavior) …反応、動作
- ・精査…詳しく調べること

変動費と固定費の中間タイプ

原価予測の方法

○用語○

・正常操業圏…通常の経営活動から想定される操業度の範囲

<費目別精査法(勘定科目法)について>

- ・費目別精査法とは、過去の実績データ(原価発生額)をもとに、()ごとに固定費と変動費に分ける方法をいう。
- ・この方法は、簡単に取り入れやすい方法であるため、多くの企業で採用されている。ただし、担当者の主観的な判断で決めていくことから、信頼性が低いという欠点もある。

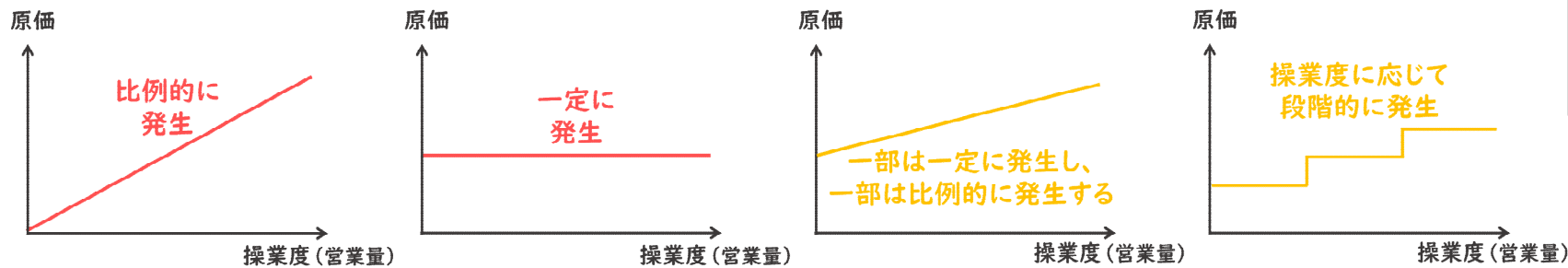
勘定科目	分類
主要材料費	→ 変動費
機械減価償却費	→ 固定費
賃借料	→ 固定費
:	:

<高低点法について>

- ・高低点法とは、過去の実績データをもとに、()操業度と()操業度の2点の原価発生額から固定費と変動費に分ける方法をいう。なお、取り出すデータは、異常値(自然災害等)を除く正常操業圏から取り出す。

月	生産量	原価発生額
4	30コ	300円
5	50コ	500円
6	60コ	600円
7	100コ	1,000円
8	500コ	5,000円
9	40コ	400円

正常操業圏: 40コ~100コ



原価予測の方法

～問題解説～

<原価の固定分解について計算方法を確認しよう!>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



原価予測の方法

※費目別精査法は、勘定科目の性格に応じて固定費と変動費に分けていくが分けるための明確な基準がないため、多くのケースで固定費に分類するものと変動費に分類するものを資料にあげています。
そのため、この《問題1》では解き方のイメージを掴んでもらえればと思います。

《問題1》

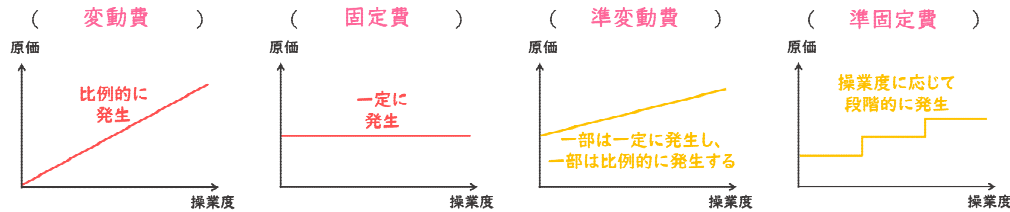
下記の資料より、費目別精査法を用いて原価分解を行い、
解答欄が示す金額を求めなさい。

なお、当期の操業度（直接作業時間）は100時間であった。

【資料】

1.原価データ

- ・主要材料費：2,500円
- ・買入部品費：1,500円
- ・直接工賃金：3,500円
(変動費：1,000円・固定費：2,500円)
- ・機械減価償却費：4,500円
- ・保険料：1,000円
- ・賃借料：2,000円



<変動費>

<変動費率>

<固定費>

【解答】

	金額
変動費率	@ 円
(年間)固定費	円

原価予測の方法

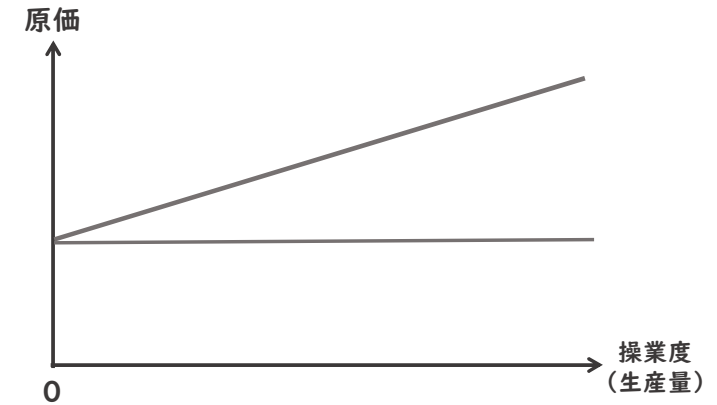
○ポイント○

操業度(営業量)と原価の関係を、一次関数の「 $y=ax+b$ 」の形で表し、最高操業度と最低操業度の2点から原価分解を行う。

《問題2》

下記の資料より、高低点法を用いて原価分解を行い、解答欄が示す金額を求めなさい。

なお、正常操業圏(月間生産量)は140コ~200コである。



【資料】

1.原価データ

月	生産量	原価発生額
4	160コ	17,000円
5	150コ	16,500円
6	110コ	14,000円
7	220コ	22,000円
8	190コ	18,500円
9	170コ	17,600円

<最高操業度>

<最低操業度>

<変動費率>

<固定費>

~高低点法の計算手順~

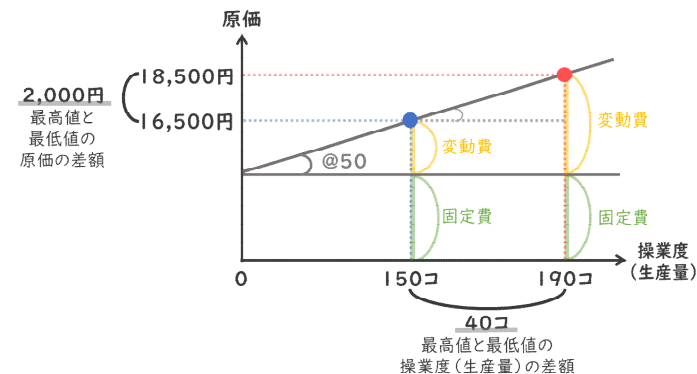
①.データの抽出→②変動費率の計算→③固定費の計算

【解答】

	金額
変動費率	@ 円
(月間)固定費	円

勘定科目		分類
主要材料費	→	変動費
機械減価償却費	→	固定費
賃借料	→	固定費
⋮		⋮

《まとめ》



- 将来の原価を予測するためには、原価を固定費と変動費に分解する必要がある
- 原価の固変分解の方法には、()と()がある。
- 高低点法は、操業度(営業量)と原価の関係を、一次関数の「 $y=ax+b$ 」の形で表し、最高操業度と最低操業度の2点から原価分解を行う。
- 高低点法におけるデータは、()から取り出すこと



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします♡

第28回の内容お疲れさまでした♪

